



図書便り（1月号）

令和5年（2023年）1月27日発行

文責 原田

～3学期ですね。～

はやいもので、1月が終わろうとしています。2月4日は立春。春が立ち上がるのです。次第に暖かくなるでしょうが、暖気は寒気と交代にやってきます。三寒四温というものです。百人一首の和歌の中に「君がため春の野にいでて若菜摘む我が衣手に雪は降りつつ」というものがありますが、新緑と雪の白さが鮮やかに目に浮かびます。先日、松島町を通りましたが、菜の花がきれいに咲いていました。皆さんも「春」を探してみてもいいでしょうか。

～おすすめの本～

今年が良い一年となるように本を読んでみませんか？

『リエゾン -こどものこころ診療所-』

原作・漫画：ヨンチャン、原作：竹村優作



23年1月のテレビ朝日系金曜ドラマにもなっているマンガ。舞台は児童精神科。さまざまな心の病を抱える子どもたちと出会い、よりよい解決への道を模索する感動のヒューマンドラマです。本校平

田先生おすすめの本。

『信長もビックリ!? 科学でツッコむ日本の歴史 ～だから教科書にのらなかった～』

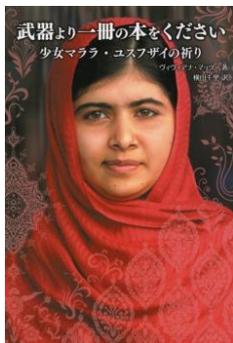
平林 純（著）千野エー（絵）



歴史적으로よく知られたこと柄。でも科学的な視点で見直すとどうなるか。例えば真剣白刃取りは可能なのか。火縄銃と和弓、どちらが良く当たる？へえと感心する36の話題。

『武器より一冊の本をください 少女マララ・ユスフザイの祈り』

ヴィヴィア・マツア（著）
横山千里（訳）



パキスタン人の少女がテロ組織のメンバーに銃撃された。理由はテロ組織を批判したから。かろうじて一命を取り留めた少女。マララさんが銃撃を受けるに至ったパキスタンの状況と、テロ組織に脅かされながら生活するマララさんたちの日常が描かれる。

『菓子工房ルルスが教えるくわしくていいねいなお菓子の本』

新田あゆ子（著）



この本の特徴は、沢山の写真と詳細なテキストでレシピはもちろん器具の使い方や成形のコツなどがとても詳しくて丁寧なところ。なぜ失敗するのか、どうしたら成功するのか、そんな点について知りたい人にもお勧めです。

